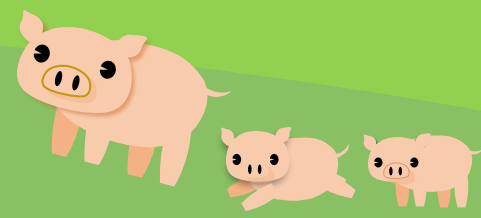
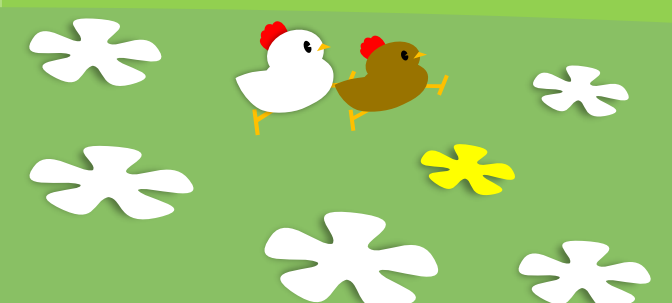
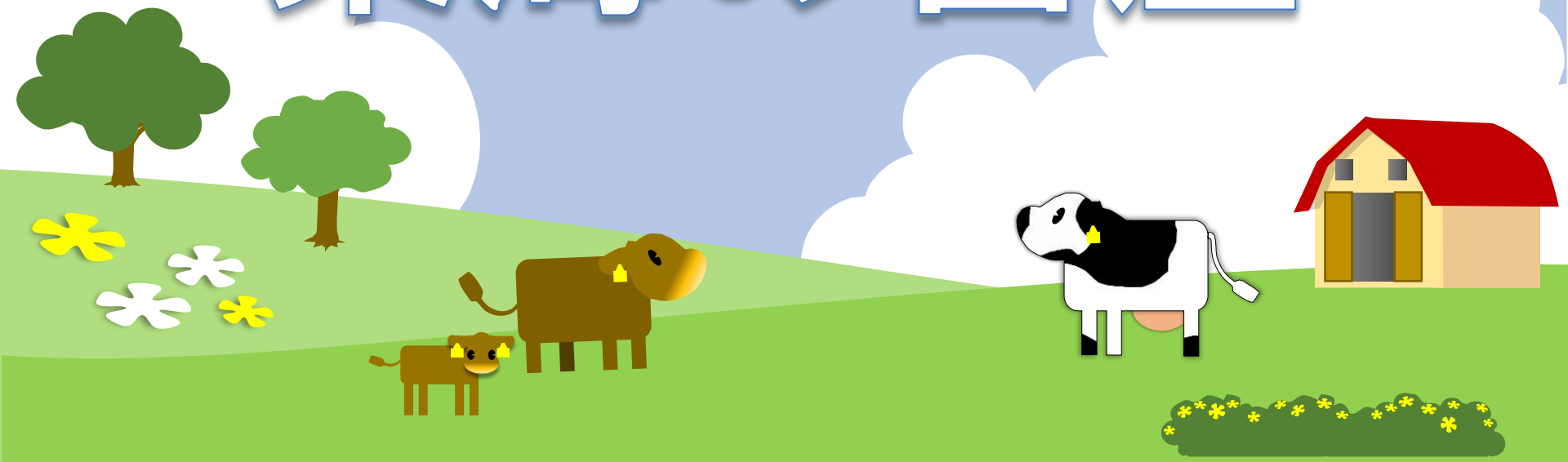
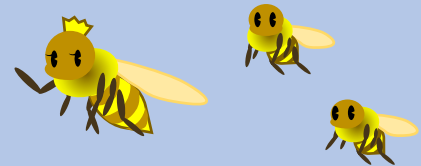


# 東海の畜産



令和8年3月  
農林水産省  
東海農政局  
生産部畜産課

# 目次

[1. 東海の農業・畜産の概要](#)

[2. 乳用牛](#)

[3. 肉用牛](#)

[4. 豚](#)

[5. 採卵鶏](#)

[6. うずら](#)

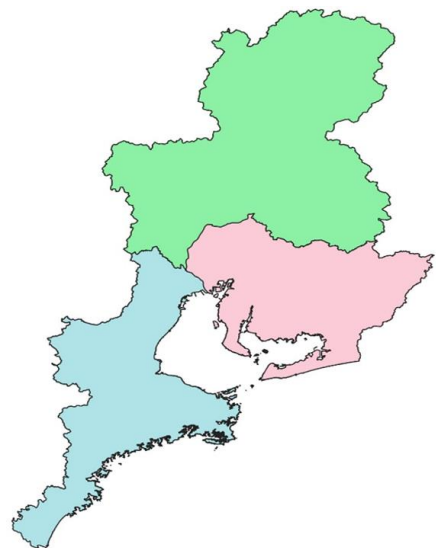
[7. 肉用鶏](#)

[8. 飼料](#)

[9. 養蜂](#)

[10. 競馬（概要）](#)

[11. 畜産物の輸出](#)



## ○利用上の注意

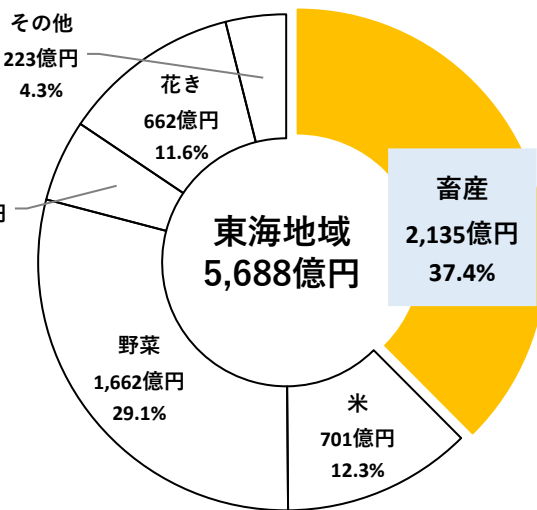
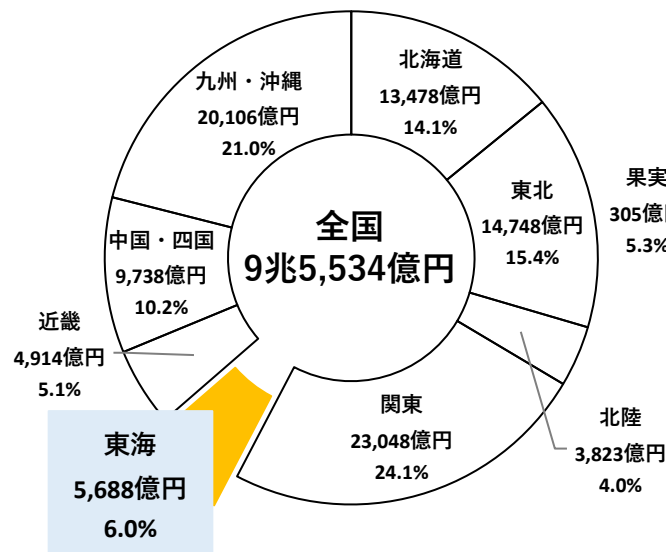
- ・ 東海（地域）：岐阜県、愛知県、三重県
- ・ 統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内容の計が一致しない場合がある
- ・ 各項目番号を押していただくと、該当ページに飛ぶことができますのでご活用ください



# 1. 東海の農業・畜産の概要

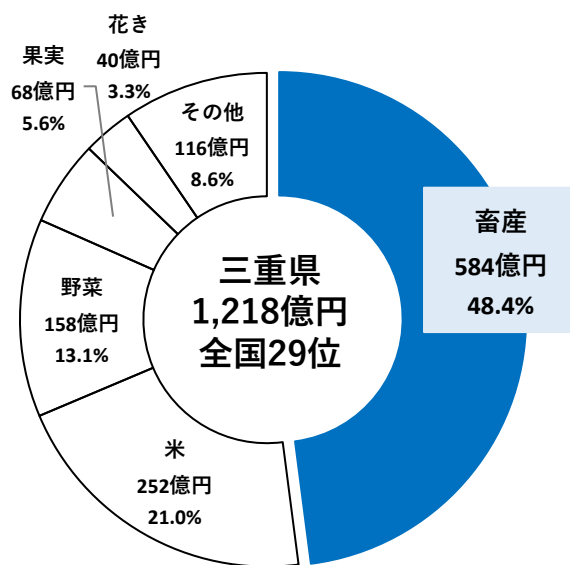
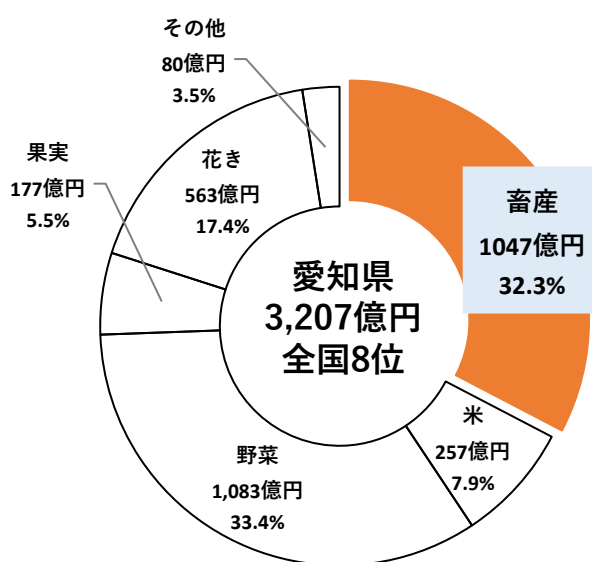
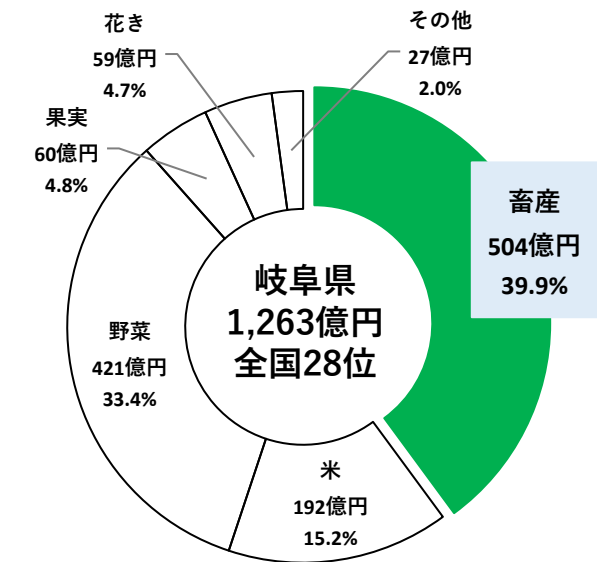
## ○地域別農業産出額【令和5年】

## ○東海地域内農業産出額【令和5年】



- 東海地域の農業産出額は**5,688億円**で、全国の**6.0%**を占める
- 東海地域内における畜産物産出額は**2,135億円**で**37.4%**を占めており、畜産が盛んな地域である
- 県別の畜産物産出額は、**岐阜県**及び**愛知県**では**30%以上**を占め、**三重県**では**48.4%**を占めている  
→県別にみても畜産が盛んであることがわかる

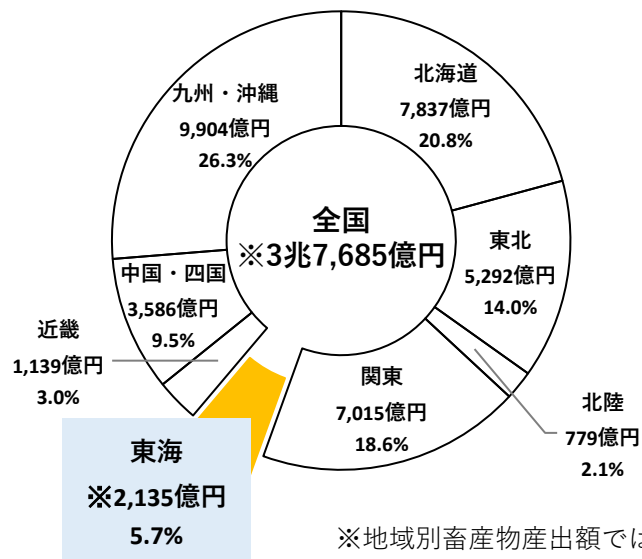
## ○県別農業産出額【令和5年】



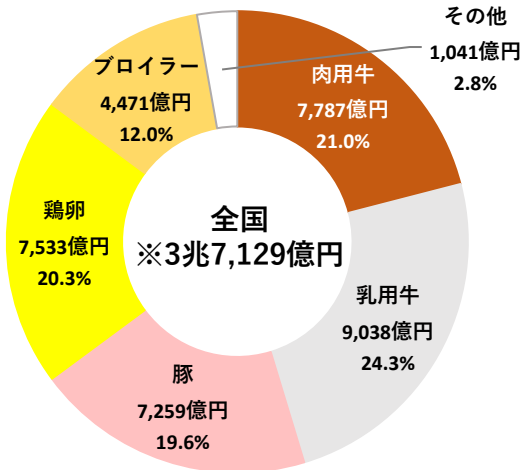


# 1. 東海の農業・畜産の概要

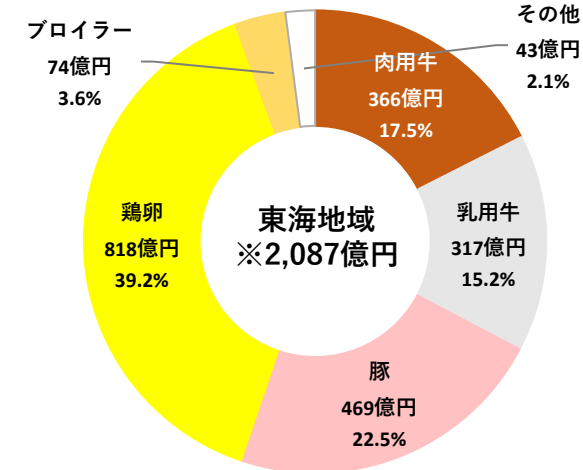
## ○地域別畜産物産出額【令和5年】



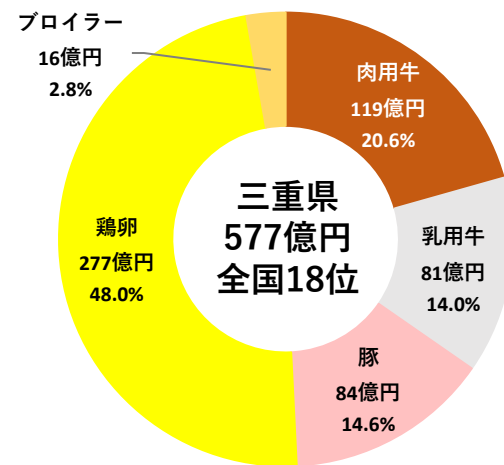
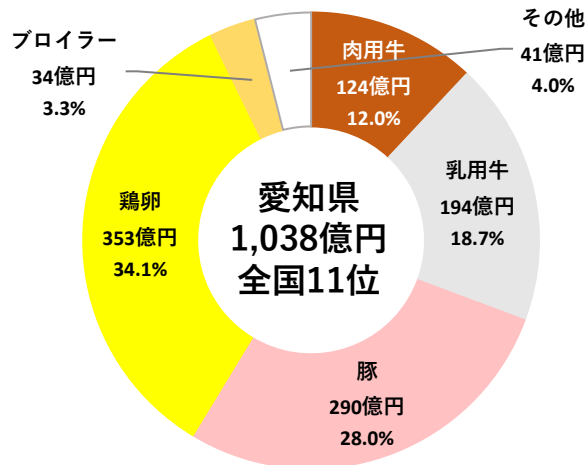
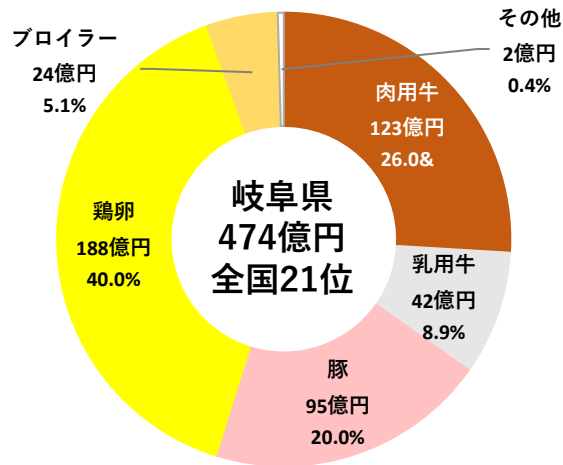
## ○畜種別産出額【令和5年】



## ○東海地域内畜種別産出額【令和5年】



## ○県別畜種別産出額【令和5年】



- ・東海地域の畜産物産出額は、**2,135億円**で、全国の**5.7%**を占める
- ・畜種別では、全国と比べ**鶏卵**と**豚**の割合が高くなっている



# 1. 東海の農業・畜産の概要

○各種産出額の全国順位（1）（単位：億円）【令和5年】

## ・畜産全般

順位	都道府県	産出額
1	北海道	7,837
2	鹿児島	3,754
3	宮崎	2,483
4	岩手	1,975
5	千葉	1,501
6	熊本	1,371
7	栃木	1,367
8	茨城	1,353
9	群馬	1,319
10	青森	1,090
11	愛知	1,047
∴		
18	三重	584
21	岐阜	504
∴		
	全国	37,685
	平均	801.9

## ・乳用牛

順位	都道府県	産出額
1	北海道	4,781
2	栃木	472
3	熊本	352
4	群馬	256
5	岩手	255
6	千葉	254
7	茨城	236
8	愛知	194
9	岡山	149
10	宮城	129
∴		
19	三重	81
∴		
29	岐阜	42
∴		
	全国	9,038
	平均	192.3

## ・肉用牛

順位	都道府県	産出額
1	北海道	1,224
2	鹿児島	1,208
3	宮崎	765
4	熊本	435
5	宮城	253
6	栃木	251
7	長崎	250
8	岩手	249
9	茨城	196
10	兵庫	186
∴		
18	愛知	124
19	岐阜	123
∴		
21	三重	119
∴		
	全国	7,787
	平均	165.8



- ・いずれの産出額も、**愛知県**が最も多い
- ・3県とも、**肉用牛**の産出額は全国的に見て中位程度の立ち位置となっている





# 1. 東海の農業・畜産の概要

○各種産出額の全国順位（2）（単位：億円）【令和5年】

## ・豚

順位	都道府県	産出額
1	鹿児島	910
2	北海道	608
3	宮崎	600
4	千葉	519
5	群馬	478
6	茨城	405
7	岩手	388
8	青森	307
9	愛知	290
10	栃木	279
⋮		
22	岐阜	95
23	三重	84
⋮		
	全国	7,259
	平均	154.4

## ・鶏卵

順位	都道府県	産出額
1	千葉	504
2	茨城	460
3	鹿児島	439
4	岡山	433
5	広島	361
6	愛知	353
7	栃木	348
8	群馬	327
9	兵庫	303
10	静岡	291
11	三重	277
⋮		
19	岐阜	188
⋮		
	全国	7,533
	平均	160.3

## ・ブロイラー

順位	都道府県	産出額
1	鹿児島	1,067
2	宮崎	827
3	岩手	778
4	青森	233
5	北海道	161
6	熊本	112
7	岡山	108
8	鳥取	104
9	佐賀	101
10	徳島	94
⋮		
21	愛知	34
24	岐阜	24
⋮		
30	三重	16
⋮		
	全国	4,471
	平均	120.5



・前項同様、いずれの産出額も、愛知県が最も多く、特に前項の乳用牛や上記の豚、鶏卵は全国TOP10入りしている





## 2. 乳用牛

### ○飼養戸数・飼養頭数・一戸当たり飼養頭数の全国順位【令和7年2月1日時点】

#### ・飼養戸数 (単位：戸)

順位	都道府県	戸数
1	北海道	4,970
2	岩手	650
3	栃木	531
4	熊本	438
5	宮城	349
6	群馬	342
7	千葉	342
8	茨城	236
9	長野	203
10	福島	193
⋮		
12	愛知	186
⋮		
27	岐阜	78
⋮		
44	三重	26
⋮		
	合計	11,300
	平均	240.9

#### ・飼養頭数 (単位：頭)

順位	都道府県	頭数
1	北海道	816,800
2	栃木	51,400
3	熊本	41,900
4	岩手	37,600
5	群馬	31,000
6	千葉	25,200
7	茨城	22,900
8	愛知	17,800
9	岡山	15,100
10	宮城	14,900
⋮		
24	三重	7,040
⋮		
28	岐阜	4,860
⋮		
	合計	1,293,000
	平均	27,512.6

#### ・一戸当たり飼養頭数 (単位：頭/戸)

順位	都道府県	頭数
1	三重	270.8
2	北海道	164.3
3	島根	152.2
4	大分	126.6
5	和歌山	102.0
6	香川	99.6
7	茨城	97.0
8	栃木	96.8
9	愛知	95.7
10	熊本	95.7
⋮		
30	岐阜	62.3
⋮		
	合計	
	平均	114.4

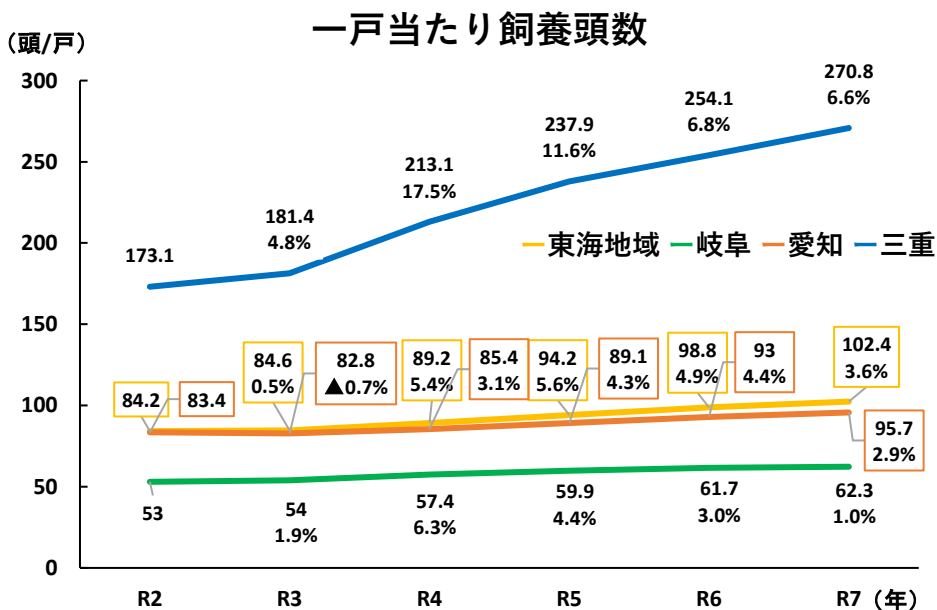
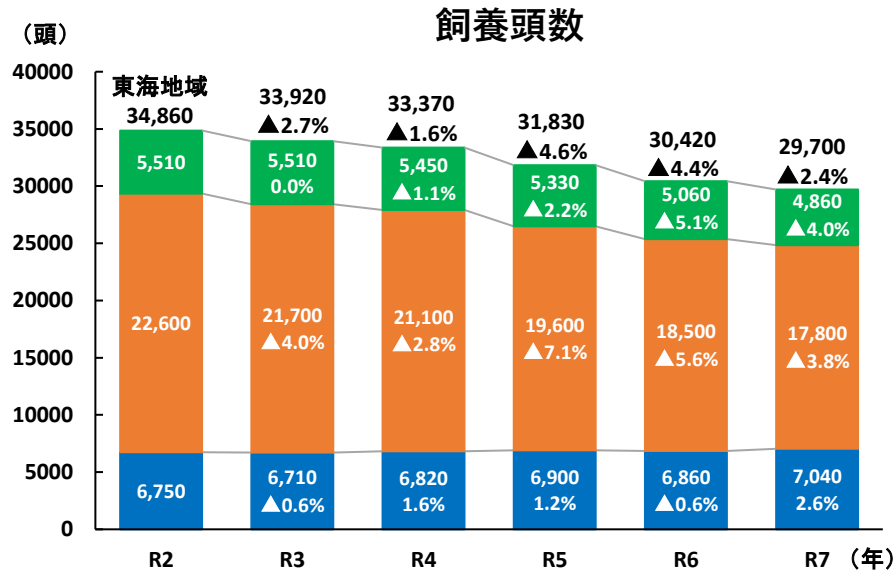
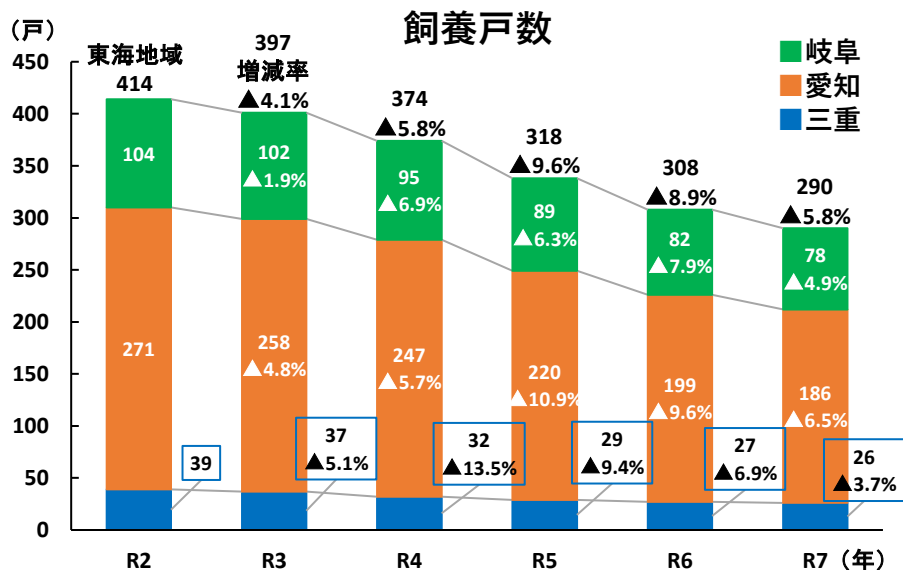
- ・飼養戸数、飼養頭数は、東海3県内で**愛知県**が最も多い  
→特に**飼養頭数**は、**全国TOP10**入りしている
- ・**三重県**は、一戸当たりの**飼養頭数**が**全国1位**である  
→**一戸当たりの大規模化**が特に進んでいることがわかる





# 2. 乳用牛

## ○飼養戸数・飼養頭数・一戸当たり飼養頭数の推移【各年2月1日時点】



- ・飼養戸数は3県とも減少
- ・飼養頭数は三重県を除いて減少  
→特に、飼養戸数の減少率は、飼養頭数より大きい
- ・一戸当たりの飼養頭数は年々増加しており、特に三重県で顕著である  
→飼養戸数が減少している割には飼養頭数の変動が少ないため

# 2. 乳用牛

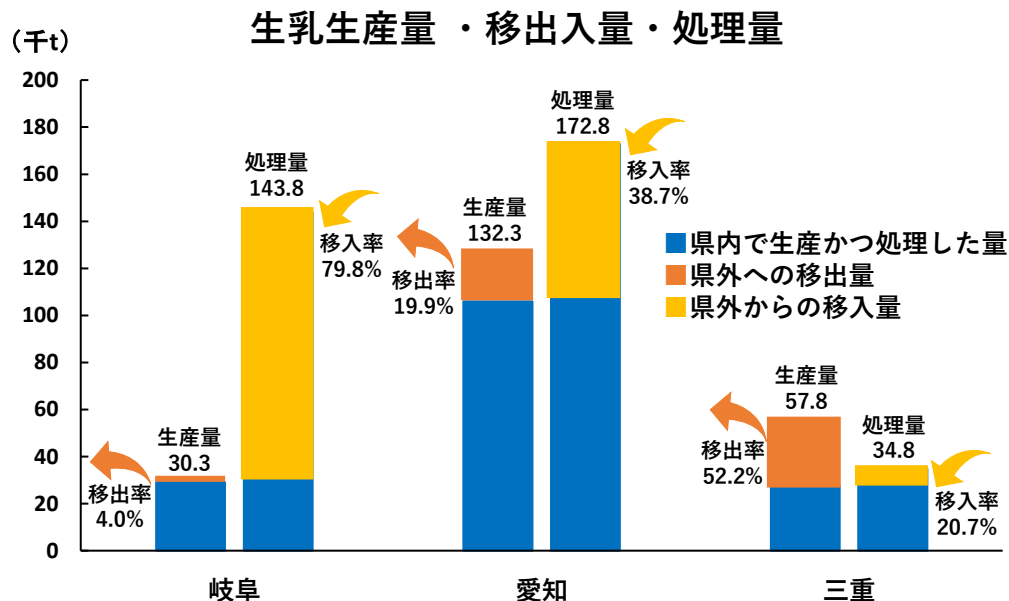
## ○生乳生産量・処理量（単位：千t）【令和6年】

### ・生乳生産量

順位	都道府県	生産量(千t)
1	北海道	4,233.1
2	栃木	350.1
3	熊本	256.8
4	群馬	204.5
5	岩手	197.0
6	千葉	185.2
7	茨城	181.1
8	愛知	132.3
9	岡山	106.7
10	宮城	92.3
⋮		
23	三重	57.8
⋮		
29	岐阜	30.3
⋮		
	全国	7,357.5
	平均	156.5

### ・生乳処理量

順位	都道府県	処理量(千t)
1	北海道	3,711.5
2	茨城	293.5
3	神奈川	292.4
4	千葉	193.0
5	熊本	189.7
6	栃木	177.8
7	愛知	172.8
8	福岡	153.2
9	群馬	150.4
10	岩手	146.7
⋮		
12	岐阜	143.8
⋮		
26	三重	34.8
⋮		
	合計	7,178.1
	平均	188.9



- ・ **岐阜県**と**愛知県**の生乳処理量は、生産量と比較して多くなっている（特に**岐阜県**で顕著）  
 → 県外からの**移入量**が多いことが要因（東海地域全体での**生乳処理量**の内、約**46%**を県外から移入）  
 → いずれの県も、**北海道**からの移入が一番多い



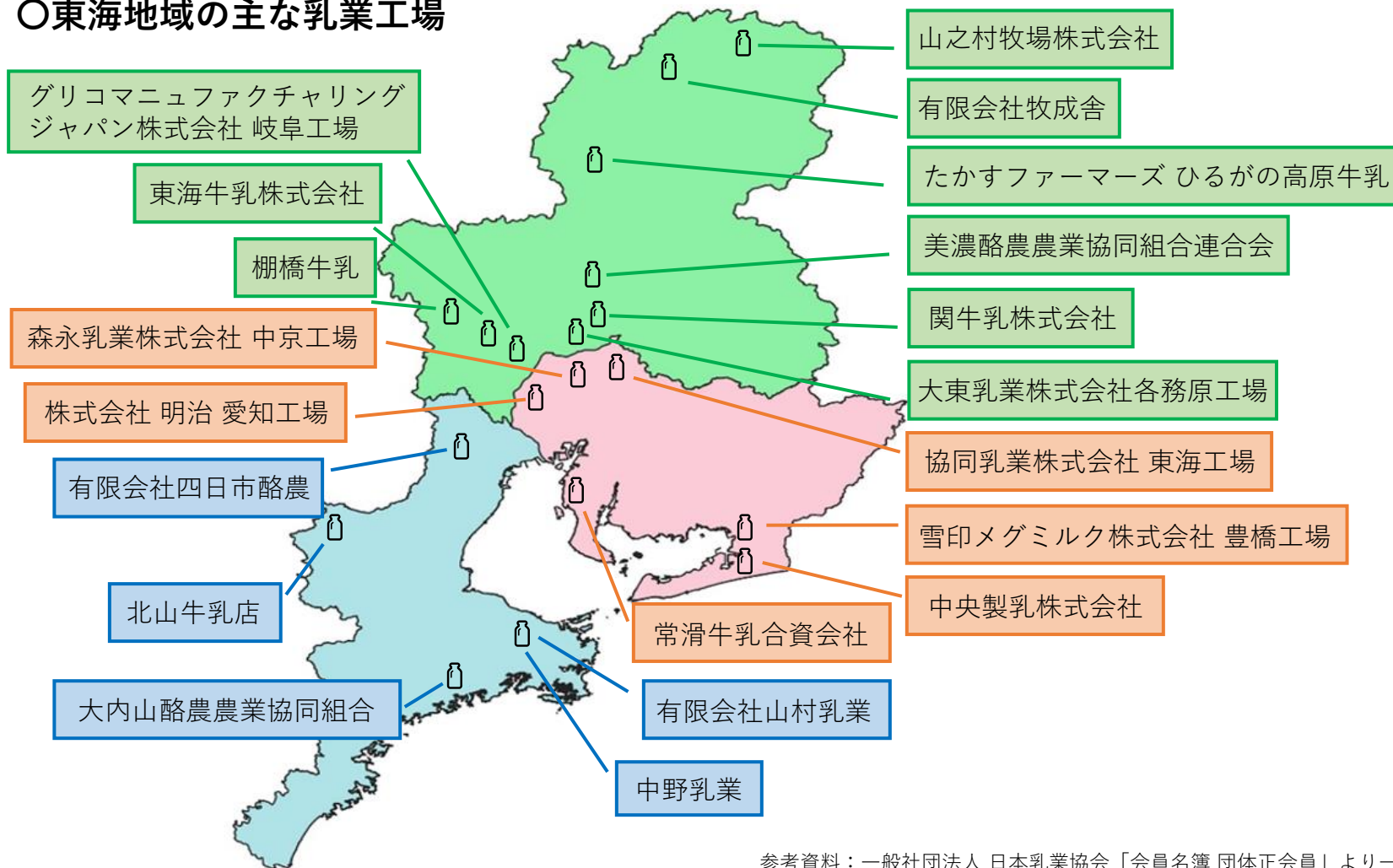
## 2. 乳用牛

### ○東海地域の乳業工場【令和6年12月31日時点】

・東海地域には、牛乳等製造工場が**24工場**、乳製品製造工場が**18工場**ある

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計調査」

### ○東海地域の主な乳業工場



## 2. 乳用牛

### ○牛乳に関するキャンペーン・イベントなど

#### 「父の日に牛乳（ちち）を贈ろう！キャンペーン」-東海農政局長への牛乳贈呈-

- ・酪農に従事する青年・女性で組織する**全国酪農青年女性会議**で、平成18年度より**牛乳の消費拡大**を図るため毎年キャンペーンを実施している（令和7年度キャンペーン活動期間は、※牛乳月間である6月1日から6月30日）
- ・このキャンペーンの一環として、令和7年6月4日、中部6県（**岐阜**、**愛知**、**三重**、富山、石川、静岡）の中部酪農青年女性会議から、日々忙しく働くお父さんたちの代表として**東海農政局長**に**牛乳**が贈呈された

○イベントの様子はこちらから！→[「父の日に牛乳（ちち）を贈ろう！キャンペーン」-東海農政局長への牛乳贈呈-：東海農政局](#)

### ※牛乳月間とは？

#### ・世界での動き

→酪農の盛んな地域では、新しい草が伸びるころから放牧を開始し、牛は思う存分青草を食べる生命力があふれるこの時期、ミルク、これらをもたらし命や自然、働く人々に感謝するお祭りが行われるこれより、平成13年に**FAO（国連食糧農業機関）**が6月1日を「**世界牛乳の日**」（World Milk Day）と提唱



#### ・日本での動き

→平成19年に**日本酪農乳業協会（現一般社団法人Jミルク）**が6月1日を「**牛乳の日**」と定め、6月を「**牛乳月間**」と定めた

参考：一般社団法人Jミルク「世界牛乳の日・牛乳月間」

### 「牛乳でスマイルプロジェクト」

- ・令和4年6月、**農林水産省**が、**一般社団法人Jミルク**とともに立ち上げたプロジェクト
- ・**牛乳乳製品**を食事に取り入れることで、笑顔になってほしいというメッセージが込められている
- ・**酪農、乳業関係者**のみならず、様々な**企業、団体、自治体**など、幅広い参加者に加わっていただき、共通ロゴマークによる一体感を持って、更なる**牛乳乳製品の消費拡大**に取り組む



○プロジェクトの詳細は、農林水産省「牛乳でスマイルプロジェクト」をご覧ください。

# 3. 肉用牛

## ○飼養戸数・飼養頭数・一戸当たり飼養頭数の全国順位【令和7年2月1日時点】

### ・飼養戸数 (単位：戸)

順位	都道府県	戸数
1	鹿児島	5,530
2	宮崎	4,000
3	岩手	2,910
4	宮城	2,180
5	沖縄	2,060
6	北海道	2,030
7	熊本	1,900
8	長崎	1,830
9	福島	1,330
10	兵庫	976
⋮		
19	岐阜	398
⋮		
23	愛知	306
⋮		
32	三重	134
⋮		
	合計	34,000
	平均	723.7

### ・飼養頭数 (単位：頭)

順位	都道府県	頭数
1	北海道	544,700
2	鹿児島	360,400
3	宮崎	248,400
4	熊本	133,200
5	長崎	91,100
6	栃木	83,500
7	岩手	81,800
8	宮城	76,100
9	沖縄	75,300
10	兵庫	57,200
⋮		
18	愛知	40,900
⋮		
21	岐阜	33,000
⋮		
23	三重	30,500
⋮		
	合計	2,595,000
	平均	55,211

### ・一戸当たり飼養頭数 (単位：頭/戸)

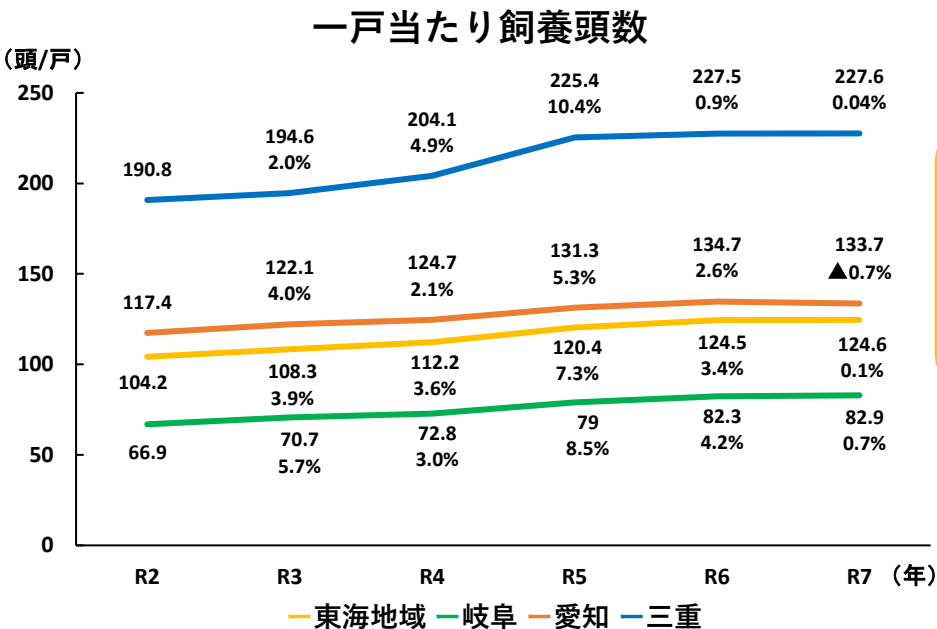
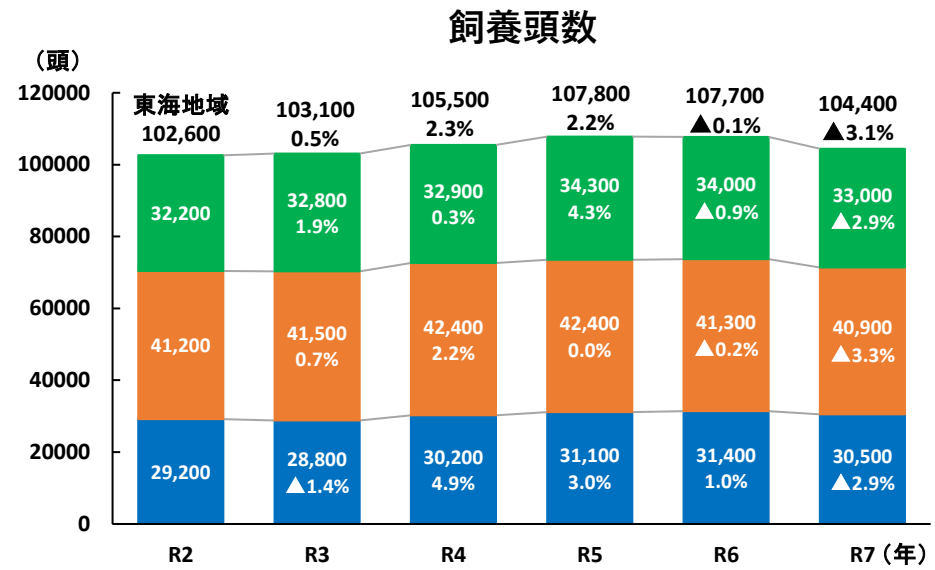
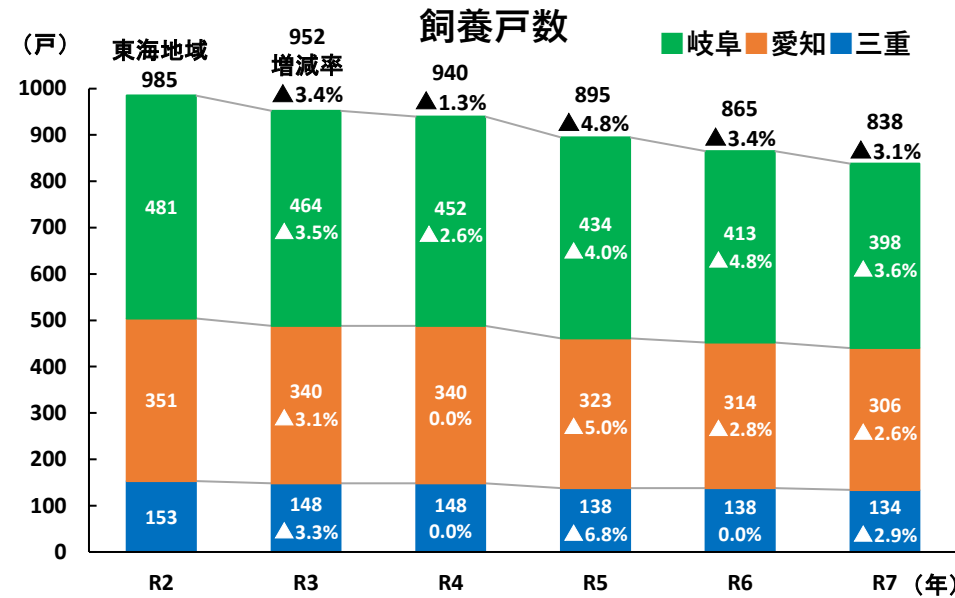
順位	都道府県	頭数
1	滋賀	272.0
2	北海道	268.3
3	三重	227.6
4	静岡	197.9
5	千葉	193.3
6	埼玉	164.8
7	香川	152.5
8	福岡	144.6
9	徳島	139.5
10	愛知	133.7
⋮		
24	岐阜	82.9
⋮		
	合計	
	平均	76.3

・愛知県、三重県の一戸当たり飼養頭数は、全国TOP10入りしている



# 3. 肉用牛

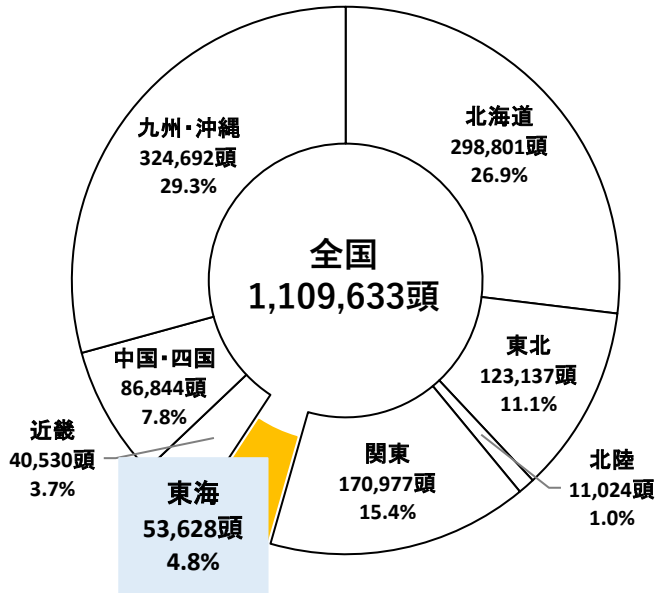
## ○飼養戸数・飼養頭数・一戸当たり飼養頭数の推移【各年2月1日時点】



- ・ 飼養戸数は**減少**しているが、飼養頭数は横ばいである
- ・ 一戸当たりの飼養頭数は**微増**している
- ・ 乳用牛と同様、**三重県**では特に一戸当たりの飼養頭数が多くなっている

# 3. 肉用牛

## ○地域別成牛出荷頭数【令和6年】



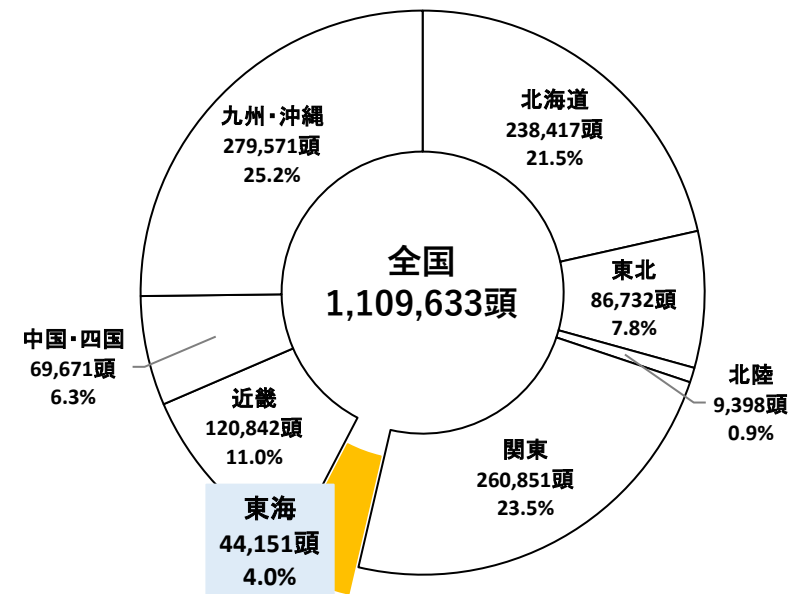
## ○出荷頭数全国順位（単位：頭）

順位	都道府県	出荷頭数
1	北海道	298,801
2	鹿児島	110,766
3	宮崎	83,385
4	栃木	44,118
5	熊本	43,436
6	群馬	31,511
7	茨城	31,032
8	岩手	29,108
9	長崎	28,323
10	青森	26,402
⋮		
12	愛知	24,936
⋮		
20	三重	15,786
21	岐阜	12,906
⋮		
	合計	1,109,633
	平均	23,609

## ○と畜頭数全国順位（単位：頭）

順位	都道府県	と畜頭数
1	北海道	238,417
2	鹿児島	99,387
3	東京	89,013
4	兵庫	69,303
5	福岡	54,926
6	宮崎	52,494
7	茨城	46,376
8	埼玉	35,873
9	熊本	35,450
10	青森	27,257
⋮		
18	愛知	17,284
⋮		
22	岐阜	16,117
⋮		
25	三重	10,750
⋮		
	合計	1,109,633
	平均	24,122

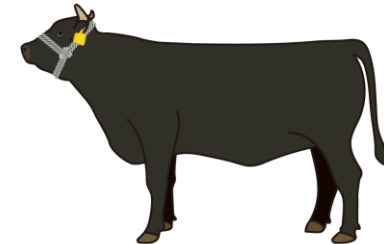
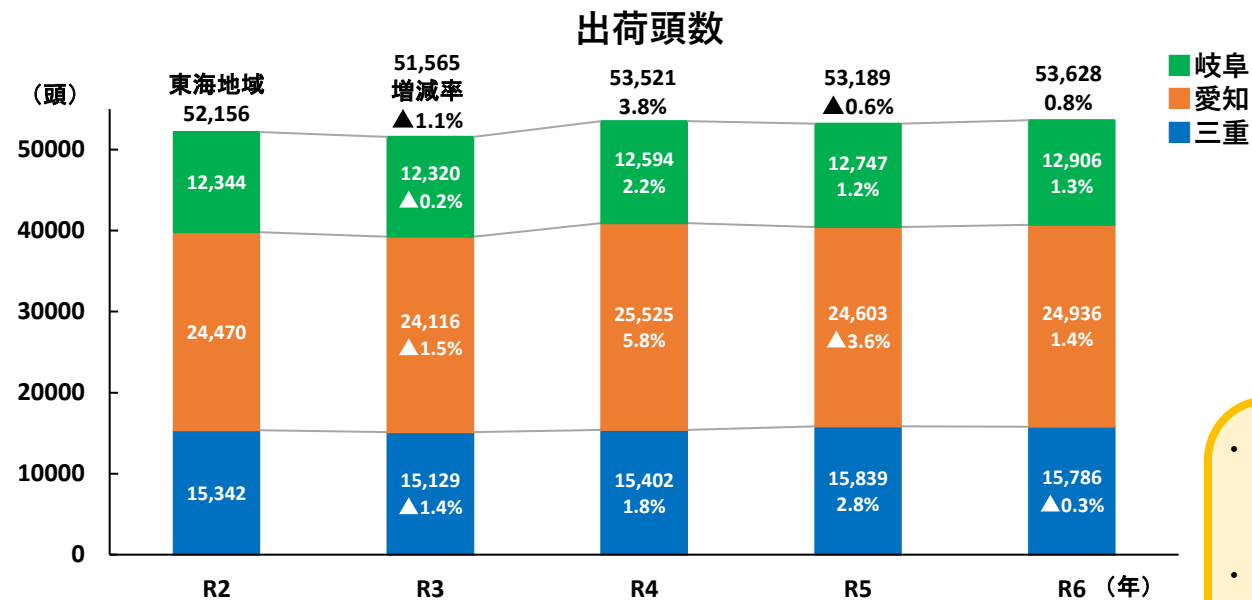
## ○地域別成牛と畜頭数【令和6年】



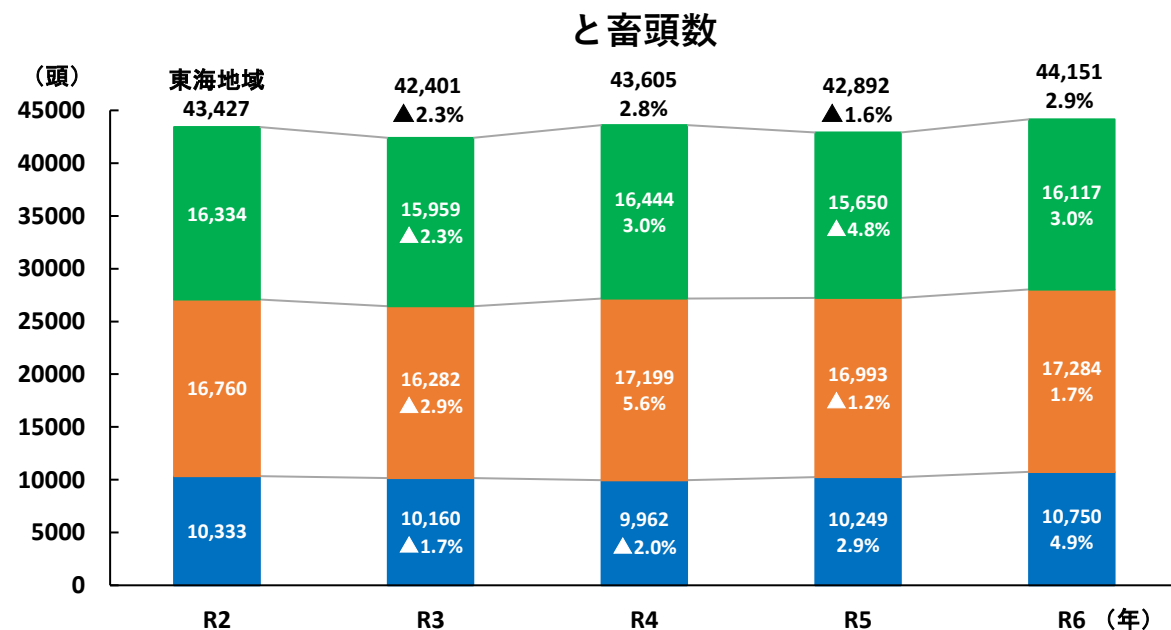
・ 出荷頭数及びと畜頭数は、どちらも愛知県が一番多い  
 ・ 全国的には、東海3県は約4.0%の出荷、と畜を行っている

# 3. 肉用牛

## ○年間出荷頭数及びと畜頭数推移【令和6年】



- ・ 出荷頭数及びと畜頭数は、横ばいで推移している
- ・ **岐阜県**では、出荷頭数に対し、県内でのと畜頭数が多い
- ・ **愛知県**と**三重県**では、出荷頭数に対し、県内でのと畜頭数が少ない

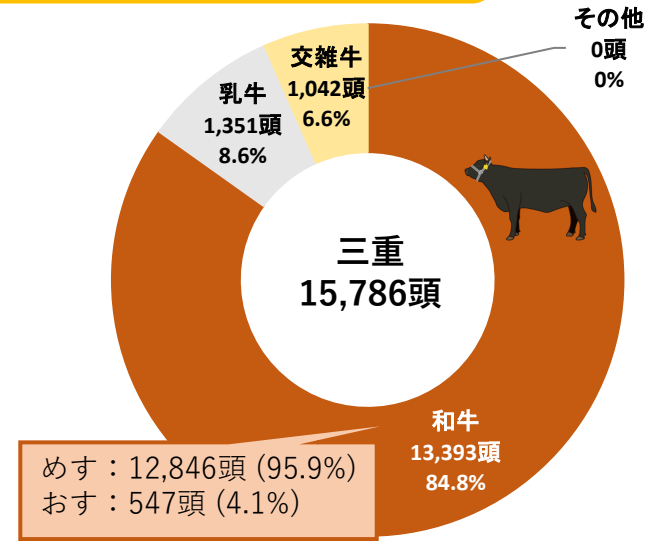
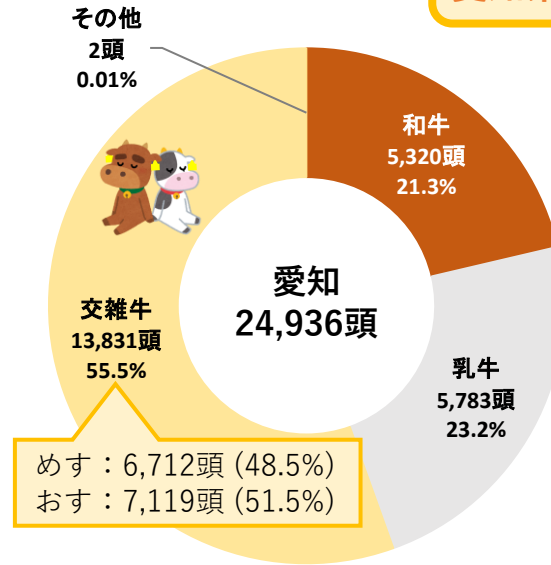
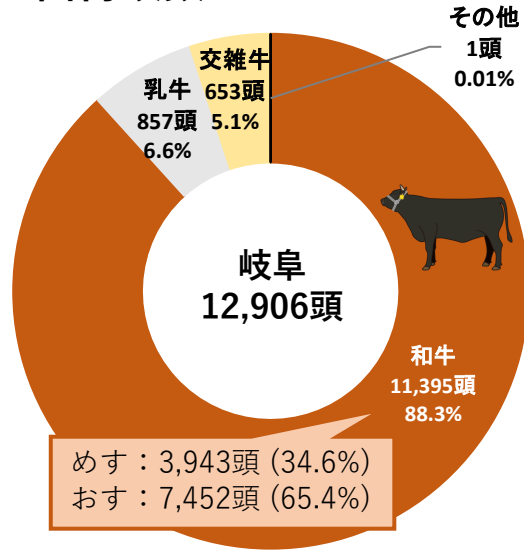


# 3. 肉用牛

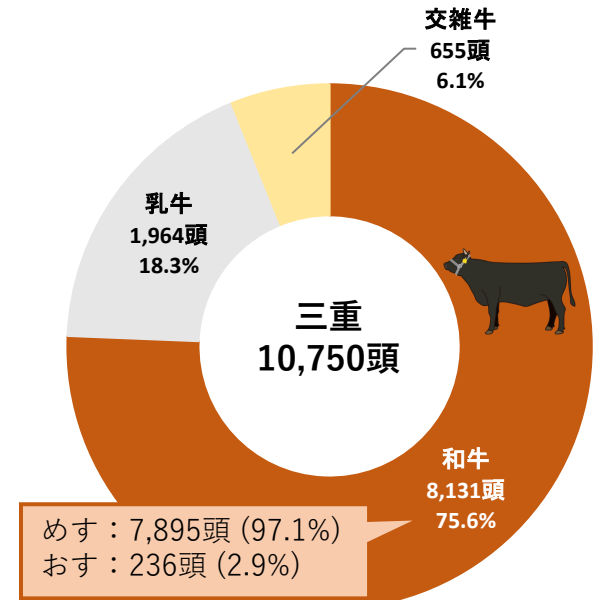
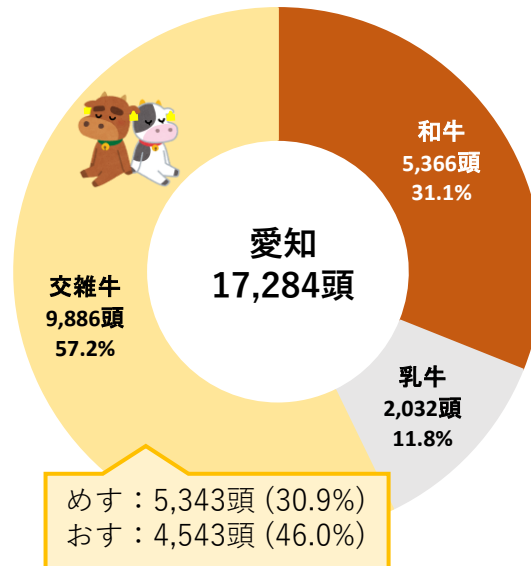
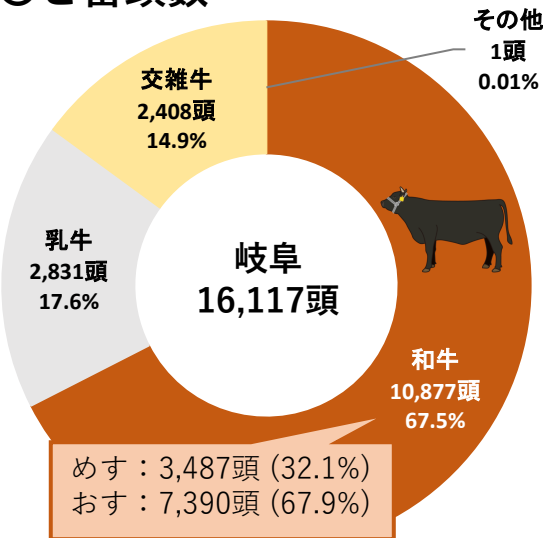
## ○各県別出荷・と畜頭数【令和6年】

### ○出荷頭数

岐阜県・三重県→和牛メイン  
愛知県→交雑牛が半数以上を占める



### ○と畜頭数



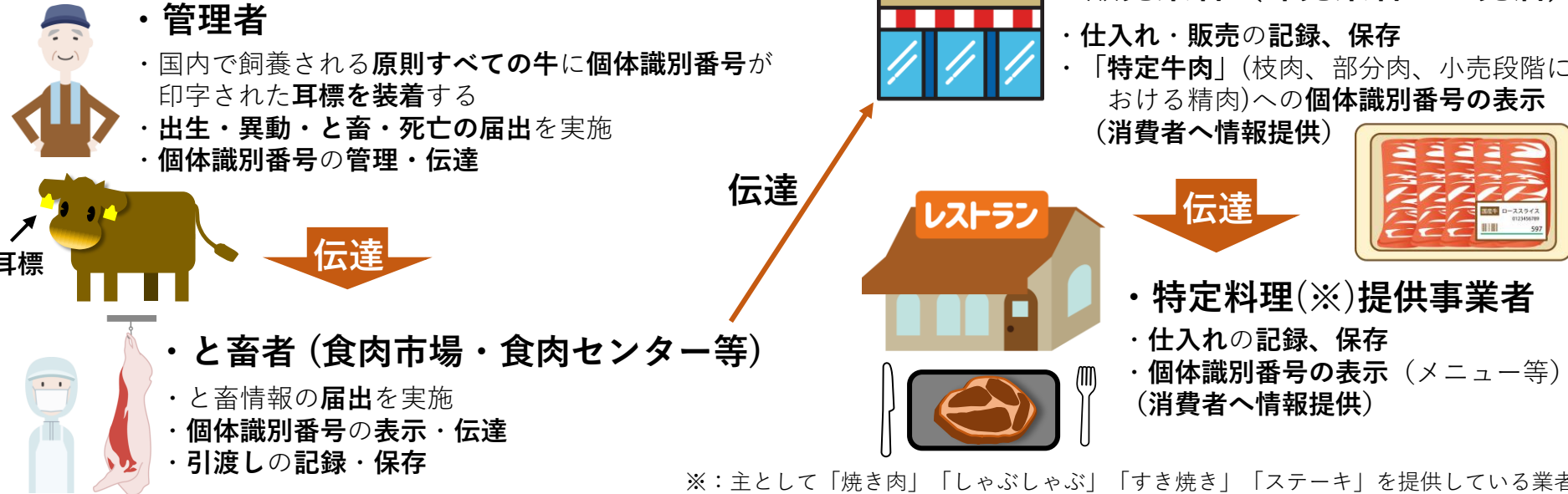
# 乳用牛・肉用牛 <牛トレーサビリティ制度について>

<まず、食品のトレーサビリティとはなにか？ = **食品の移動を把握できること**>



・各事業者が食品を取扱った際の記録を**作成・保存**することで、**食中毒**などの健康に影響を与える**事故等**が発生した際に、**問題のある食品がどこから来たのか、どこに行ったのか**を調べることができる（参考：農林水産省「トレーサビリティ関係」）

## <では、牛トレーサビリティ制度とは？>



**BSE(牛海綿状脳症)のまん延防止措置の的確な実施**を図るため、牛を**個体識別番号**により一元管理し、生産から流通の各段階において**正確に番号を伝達**することで、消費者に対して**個体識別番号の提供を促進**するとともに、**問題発生時の迅速な追跡や回収が可能**となる

（参考：農林水産省「牛・牛肉のトレーサビリティ」）